

◇「ナゼスタイル」は長岡で頑張る企業・起業家を応援するフリーペーパーです。(奇数月発行)

おかげさまでNAZEは設立10周年

Nagaoka Activation  
Zone of Energy

vol.53  
20160331

FREE  
0円

# NAZE Style

## 豪技2016決定!



### CONTENTS :

豪技2016決定!  
平成27年度 第2回通常総会  
平成28年度 事業計画・新役員体制  
会員企業紹介  
NAZE NEWS  
学生のモノづくり企業訪問記 vol.38  
(株)池田機工 × 長岡造形大学  
デザインコラム Season2 vol.12





# 豪技2016が決定!

3月14日、第2回NAZE通常総会において「豪技2016」の認定証をお渡ししました。



## 「ボールねじのテーブ研磨装置」

神の手が磨く



## 株式会社 サンシン

<http://www.kksanshin.co.jp>  
〒940-1163 長岡市平島 1-11  
TEL : 0258-22-1529



《ボールねじ加工ユニット》



《内径研磨ユニット》

### ボールねじを超仕上げする世界初のテーブ研磨装置

高精度かつ均一な面精度を実現し、環境配慮や安全性、快適性に貢献。  
熟練工による手作業の仕上げ加工と比較しても、自動装置であるため、  
安全で均一な面仕上げが可能で高付加価値を実現。



## 長岡の秀でたモノづくり 「豪技」

豪技は〈独創性〉〈技術性〉〈市場性〉〈環境性〉〈社会性〉の観点から NAZE 外部有識者で構成する「豪技審査委員会」の審査を経て認定されます。

※豪技 (ごうぎ) …長岡で「すごい!ものすごい!」などに使われる、「ごうぎ」という、力強く親しみのある言葉にちなんでのネーミングです。

# 平成27年度 第2回通常総会を開催!

3月14日(月)、長岡グランドホテルにて第2回通常総会を開催。

当日は、会員や支援機関、関係者など約90名が出席。平成28年度事業計画・収支予算案と次年度の役員体制についてご審議いただきました。

第2部では、「平成27年度 事業成果発表会」を開催。「①5S活動推進事業」「②ホームページ改善支援事業」「③チャレンジ事業」「④NEXT道場」の4事業についてそれぞれ発表いただきました。



## 平成28年度 事業計画

### 《平成28年度方針》

『経営者や従業員等の人材育成』や『産学連携による新商品・製品の創造』、『企業の人材確保』に取り組むとともに、広く『戦略的に情報発信』することにより、NAZEブランドと会員企業の知名度の向上を図ります。また、NAZEがこれまで継続的に実施している事業は、『改善・改良』を加え、より進化させるとともに、長岡市や長岡商工会議所などの支援機関との連携・協力体制を一層強化して参ります。

### 1. 産産ネットワーク構築事業

#### (1) 現場改善支援事業

- ①インストラクター養成スクールの運営・インストラクター派遣
- ②5S推進事業

#### (2) 企業視察等連携事業

- ①会員企業視察会
- ②他地域企業視察会 など

### 2. 産学ネットワーク構築事業

#### (1) 人的ネットワーク構築事業

- ①シーズプレゼンテーション会
- ②大学研究室訪問 など

#### (2) ドリームプロジェクト(学生との連携事業)

- ①モノづくりPR事業
- ②ホームページ改善事業(長岡大学)
- ③デザイン知財応援事業(長岡造形大学)

#### (3) 留学生との交流連携事業

- ①交流塾
- ②企業訪問会
- ③留学生・企業交流会 など

### コーディネート

会員企業や市内企業の技術高度化・高付加価値化、企業・産学官連携・販路開拓支援、モノづくり情報受発信等の支援

### 3. 情報発信事業

#### (1) 各種展示会への出展事業

- ①機械要素技術展(M-Tech)への出展
- ②長岡地域のモノづくりPRイベント
- ③その他、県内外展示会への出展 など

#### (2) 多様なツールを活用した情報発信事業

- ①機関紙NAZE Styleの発刊、メルマガ発信
- ②ホームページの改善、フェイスブックの活用
- ③会員ガイドブックの発刊 など

#### (3) 子供達への情報発信事業

- ①小学生工場見学会 など

### 4. 技術力向上事業

#### (1) 地域産業の強み強化事業

- ①優れた技術・製品(豪技を含む)の発信
- ②NEXT道場
- ③人材の育成 など

#### (2) 技術力の向上事業

- ①チャレンジ事業 など

#### (3) ナノテク技術の強化

- ①にいがたナノ基盤技術実践会運営業務
- ②ナノテク機器を利用した講習会の開催 など

## 役員のご紹介(任期:平成28年4月1日~平成30年3月31日)

会 長	小 西 統 雄	(株)小西鍍金	技術顧問				
副 会 長	大 原 興 人	(株)大原鉄工所	代表取締役社長	理 事	高 橋 大 輔	(有)シンエー木型工業	代表取締役社長
	大 井 尚 敏	(株)オオイ	代表取締役		高 橋 謙	(株)タカハシ	専務取締役
	島 津 克 吉	(株)大菱計器製作所	代表取締役社長		永 島 智 之	(株)永島工機	代表取締役社長
幹 事 長	柴 木 樹	(株)アルモ	代表取締役	中 町 圭 介	エヌ・エス・エス(株)	専務取締役	
副幹事長	岡 部 恒 夫	(株)丸栄機械製作所	代表取締役	難 波 博	(株)難波製作所	代表取締役	
理 事	大石耕一郎	長岡工業高等専門学校	地域共同テクノセンター長	原 田 誠 司	長岡大学	教授	
	金澤孝和	長岡造形大学	地域協創センター長	三 上 喜 貴	長岡技術科学大学	副学長	
	桑原美博	長岡電子(株)	代表取締役	柳 和 久	個人会員		
	白杉太一	長岡信用金庫	常務理事	山 本 敦	(株)ネオス	代表取締役社長	
				渡 辺 豊	テラノ精工(株)	代表取締役	
				監 事	遠 藤 公 一	(株)北越銀行	コンサルティング営業部長
					山 口 知 康	(株)大光銀行	地域産業支援部長

## NAZEは現在73会員!

法人69・個人4

(株)アサヒプレジジョン	(株)エム・エスオフィス	久保誠電気興業(株)	(株)七里商店	テラノ精工(株)	長岡大学	(株)BSNアイトネット長岡支社	ユニオンツール(株)
飛鳥運輸(株)	(有)エムケイ技研	(有)倉品鐵工	(株)シナダ	(株)トーエイ	地域連携研究センター	(株)淵本鋼機	長岡工場
(株)アドテックエンジニアリング	(株)オオイ	クリーン・テクノロジー(株)	(有)シンエー木型工業	ナウエス精工(株)	長岡電子(株)	(株)ブラカード・ジャパン	吉井国際特許事務所
(株)アルモ	(株)大善	クワイエエンジニアリング(株)	(株)鈴民精密工業所	(株)長岡金型	(株)永島工機	古川機工(株)	
(株)アンドウ	(株)大原鉄工所	(株)小西鍍金	(株)ソリマチ技研	長岡技術科学大学	(株)中津山熱処理	(株)プレテック・エヌ	安達弘哉
(株)イートラスト	(株)大菱計器製作所	(有)小林超硬研磨	(株)大光銀行	産学官・地域連携／知的財産本部	(株)ナノテム	(株)北越銀行	高田孝次
(株)池田機工	小川コンベヤ(株)	(株)サカタ製作所	(株)第四銀行	長岡工業高等専門学校	(株)難波製作所	(株)ホクケン経済研究所	廣井 晃
エヌ・エス・エス(株)	(株)片山抜型製作所	(株)佐藤板金	(株)タカキ	長岡信用金庫	新潟工科大学	北陽精工(株)	柳 和久
(株)N D C	(株)カバサワ	(株)システムスクエア	(株)タカハシ	長岡造形大学	(株)ネオス	マコー(株)	
			中越鋳物工業協同組合	長岡造形大学	(株)パートナーズプロジェクト	(株)丸栄機械製作所	
				地域協創センター	(株)林メッキ工業所	(有)毛利製作所	(H28.3.31現在)



## 2015デザイン知財応援事業(長岡造形大学卒業修了展見学会)

2月12日(金)に4回目となる見学会を卒業生の作品の商品化を目的に、26名で実施しました。

昨年度は2点の作品について試作段階までいきましたがまだ商品化までは到ってません。

そこでなんとか優秀作品の知財権取得、商品化、販売等の実現化にむけて造形大の渡辺地域協創センター長、吉井国際特許事務所吉井所長を中心に、当日の参加者から投票いただき、優秀作品6点を選考しました。作者の同意を得られた4点について実施化に向けて検討中です。なんとか今年度は初の作品商品化を実現したいと思います。



## 第3回にいがたナノ基盤技術実践会 講演会 開催

NAZE副会長で、ナノ基盤技術実践会顧問の、長岡技術科学大学 柳 和久 教授の定年退職記念シンポジウム「リージョナル技術のグローバル化」を3月10日、ホテルニューオータニ長岡を会場に開催しました。シンポジウムには、柳先生の恩師である東京工業大学名誉教授の塚田忠夫様をはじめ、約100名の皆様がお越しくださいました。



## 講演会「食品検査機における製品開発と量産体制への取り組み」を開催

1月29日(金)、長岡商工会議所にて開催した講演会には、22名が聴講。「食品検査機における製品開発と量産体制への取り組み」について(株)システムスクエアの山田社長からご講演いただきました。「第45回機械工業デザイン賞」のほか数々の受賞歴の背景にある製品開発や量産体制等について有意義なお話をうかがいました。講演会後は交流会も行っており更に深掘り、親睦をはかりました。



## 交流部会 産学連携ミニ講演会

2月10日(水)の交流部会にて長岡高専システムデザイン・イノベーションセンター長・外山茂浩准教授から“地域に根差した実践の技術者教育の新展開”～「長岡高専SDイノベーションセンターによる分野横断型教育・研究活動」についてご講演いただきました。

長岡高専の専門の異なる若手教育者8名(制御・加工計測・酵素・コンクリート・体育)がSDセンターでどのような教育研究・活動を実践しているかをご講演されました。地域に貢献できる実践向け技術者が輩出されると確信いたしました。



## 第20回機械要素技術展 M-Techへ出展します!

豪技2016の1社を含む8社が「長岡モノづくりゾーン」として出展。

期間:6月22日(水)～24日(金) 会場:東京ビッグサイト

総称 日本ものづくりワールド 2016

第20回

機械要素技術展 M-Tech

《出展社》(株)アルモ、(株)池田機工、(株)サンシン、中越鋳物工業協同組合、(株)長岡金型、長岡スプリング(株)、(株)長岡歯車製作所、(株)プレテック・エヌ



(株)池田機工 × Nagaoka Institute of Design 長岡造形大学



株式会社 池田機工

〒954-0076 見附市新幸町10-9

TEL 0258-66-0678 FAX 0258-66-0679

URL : <http://www.ikedakikou.ecnet.jp> E-mail : [nmikeda@beige.ocn.ne.jp](mailto:nmikeda@beige.ocn.ne.jp)



今回見学させていただいた企業は、「株式会社池田機工」(以下、同社)である。同社はシートメタルをベースにした製品を製作している会社である。主としてメーカー向けにはパイプ加工製品、異種材加工製品、かしめ加工製品や打ち抜き加工製品の製作、その他オーダーメイドのオブジェの加工などを行っている。

はじめに池田則正社長から直々に会社の概要や創立の経緯について説明していただいた。創業はおよそ30年前。元々建築関連の仕事をしており、「現在の板金加工業は私(池田社長)の代から始めた。一年ほどで業務の総入れ替えをした。」という話を聞き、驚きとともに、同社のチャレンジする心、行動力の強さを感じた。板金加工を始めた当初は、たくさんの苦労もあったが、現在は東北、関東、中国地方など県外ユーザーにもリピーターがいるまでとなった。ユーザーとの出会いに関して、池田社長は「縁」だと仰っていた。縁によってたくさんの人とつながりを持ち、その縁を大切にすることが大事なのだとお話をいただいた。会社の運営の難しさ、やりがいなど、普段は聞けない部分が聞けてとても新鮮だった。社長をはじめたくさんの社員の

苦労や努力の積み重ねによって企業は成り立っているのだと実感した。

後半は会社内の見学をさせていただいた。まずはオフィス内にある検査室。数名の社員が出来上がった製品を調べ、不良品が無いようチェックを行っていた。池田社長曰く、「見直し」の意味をこめて行っているとのこと。こうした製品チェックの大切さと、それに伴う厳しい検査の状況がよくわかった。

次に向かった工場では、その設備に圧倒された。パンチング機やレーザー機など、ほとんどの機材がコンピュータを活用して、自動で板材をセットし、加工をしている。様々な部品を作るため、金型は300~500種ほどあるのだが、それらを自動で付け替えるようになっている。このように全自動化することで量産品の短納期、コストダウンが可能となり、より効率的な作業ができるのである。

一方、仕上げは人の手仕事である。溶接、ボール盤を使用した作業など様々な仕事があった。これらの作業に関して従業員はもともと経験者ではなく、先述したように、元は板金加工業ではなかった同社が社業を変更した際、社員は一から

板金加工の技術を身に付けていったのだ。経験者でなくとも機材を扱えるよう配慮していることが伺える。

機械を使うことで作業を誰でも行えるが、それを上手くできるかは人それぞれだと池田社長は仰っていた。「機械は道具、使えなければ意味が無い。」この言葉が今回の見学で最も印象深い。

今回の見学を通して、板金加工の仕組みについて知ることや、見たことのない機材を拝見させていただくなど、貴重な体験ができた。機材がどのように動いているのか、また、直接企業を訪問することでしかわからない工夫や、経営に関する苦労が分かり、私にとって良い勉強になった。

最後に、今回訪問させていただいた株式会社池田機工の皆様、ご同行いただいたNAZEの皆様、貴重な機会を与您いただきありがとうございました。



## ものデザイン視野を拡げよう! =栄久庵憲司さんを偲んで=

20世紀の日本いや世界のインダストリアルデザイン界を牽引してきたデザイナーの第一人者、日本デザイン界の巨匠である栄久庵憲司さんが、昨年2月に逝去され(享年85歳)、先日「栄久庵憲司さんを偲ぶ会」が行われ私も出席した。

栄久庵さんは、私は勿論デザインに関わる多くの方が深く広く影響を受けた一人である。残されているデザイン論や作品を振り返り、ここで改めて「デザインの原点」を少しだが再考してみる。

日本のインダストリアル(産業)・デザイン意識の出発点は、戦後焼け野原の日本で、松下電器の松下幸之助さんは、アメリカへの技術視察を終えて羽田空港のタラップを降りるなり「これからはデザインだ。」と語ったこととされている。産業立国を希求した日本は、「技術に加えてデザイン」が欠かせない価値と考え、通産省にGマーク制度を作るなど、デザインを含めての殖産・輸出振興策をスタートさせた。以来約70年、「安かろう悪かろう」で技術、デザインとも未熟であった日本製品は、勤勉な日本人の性格、永い伝統が精緻を好むモノ感等によって育まれた高い「技術(イノベーション)力とデザイン力」によって、世界をリードするまでになった。先輩諸氏がその過程に示す幾多の貢献の足跡は、挙げるまでもない。その中でデザインにおいては、栄久庵さんの功績は際立つ。

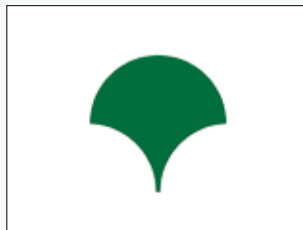
私なりに総合すれば、「人間への深い愛情表現の探求、それがデザインだ。」と言っているように聞こえる。栄久庵さんは1929年生まれで広島育ち。実家は寺。跡を継ごうと仏僧にもなった。爆心地より500mの地で被爆。その時の地獄絵とモノへの憧れが重なりデザインの世界に向かわせたという。その心にはこの背景があるのではないだろうか。

1955年芸大卒業1957年GKインダストリアルデザイン研究所(現在、世界規模の総合デザイン事務所、(株)GKデザイングループ)を立ち上げた。以後、日本協会インダストリアルデザイナー協会(JIDA)理事長、国際インダストリアルデザイン団体協議会(ICSID)会長を歴任、藍綬褒章、仏・芸術文化勲章、勲四等旭日小授賞等々多くの功績を残した。(業績はWEBに詳しいので是非ご覧を!)

私が若い頃、著書「幕の内弁当の美学」中に教えられた一つに、「多様の統一」がある。「デザインは人間の多様性(個々の人間、人種、社会、自然、環境等の全て)を美しくバランスさせ、一つの解を作り提案すること」との話にデザインの新境地があると感じたものである。

「道具の作法」、「場の開発」、「非組織的組織」、「坪庭思想」、「環境組織」、「過信の戒め」等と続く多くのデザイン論にも大きく影響された。デザインを語るとき、これらが私の芯であり柱となっていることを今感じている。

昨今、「日本の産業デザインとは?」に大きな変革・区切りの時がきている、と感じさせられているが、栄久庵さんのデザインの草創期から今日までの理論と実践の双方について、再考せねば・・・。



GK栄久庵憲司が統括のGKデザイングループのデザインワークより一部 ヤマハオートバイ・YA-1/新幹線 E3系「こまち」/キッコーマンのしょうゆ卓上瓶など

## 訃報

本紙のデザインコラムにご寄稿いただいていた、長岡造形大学名誉教授(TM Industrial Design Office 主宰)松丸武氏が、去る3月25日に急逝されました。長きにわたりありがとうございました。松丸先生のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

長岡で頑張る企業、起業家を応援します!

**NAZE**

くわしくは →

<http://www.naze.biz/>

●記事内容についての感想をお待ちしています!

Nagaoka Activation Zone of Energy  
長岡産業活性化協会 NAZE

〒940-2127 新潟県長岡市新産4丁目1番地9 NICO テクノプラザ内 NAZE 事務局  
TEL: 0258-42-8700 FAX: 0258-42-8701 E-mail: info@naze.biz

印刷: (有)めぐみ工房

